

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第三回

會議

大正十五年二月四日(木曜日)午前十時
二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

奧村 千藏君

松本 眞平君

山本条太郎君

星島 二郎君

本多貞次郎君

清水 長郷君

岡田 溫君

倉元 要一君

二月三日委員金田平兵衛君、戸澤民十郎君、河野曉君及井上利八君孰レモ辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日橋本喜造君

太田信治郎君、堤康次郎君及工藤鐵男君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 濱口 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 依 孫一君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏書記官 藤井 眞信君

大藏技師 矢部規矩治君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

商工政務次官 棚瀬軍之佐君

遞信參與官 川崎 克君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 是ヨリ前日ニ引續キマシテ關稅改正法律案ノ委員會ヲ開キマ

ス、第一ニ諸君ニ御報告申上ゲルコト

ガアリマス、委員ノ中デ金田平兵衛君、

戸澤民十郎君、井上利八君、河野曉君ノ

四君ガ辭任サレマシテ、サウシテ其補

闕トシテ、議長カラ橋本喜造君、太田信

治郎君、工藤鐵男君、堤康次郎君、此四

君ガ指名ニナリマシタ、御報告致シマ

ス

○堀切委員 私ハ大藏大臣ニ對シマシ

テ關稅改正ニ付テノ根本方針ニ付テ御

尋致シタイ今同政府ガ所得稅ヲ始メ

多數ノ稅種ニ付キマシテ増減改廢ヲ試

ミラレテ、同時ニ關稅改正案ヲ御提出

ニナリマシタ、其御勞苦ニ對シマシテ

ハ洵ニ之ヲ多ト致スノデアリマス、併

ナガラ多大ノ勞苦ヲ拂ハレタト云フコ

ト、出來上ツタ結果ノ可否トハ別問題

デアリマス、其結果ニ付キマシテハ私共甚

ダ感心致サザル點モアルノデアリマス、

就中私ガ御尋シタイノハ過日來大藏大

臣ガ豫算案ノ說明ヲ爲サル際ニ於テ、

或ハ所謂稅制案ノ說明ヲ爲サル際ニ於

テ、或ハ此關稅案ノ說明ノ際ニ當ツテ、

其御話中ニ關稅問題ダケヲ除外シテ其

他ノ稅制整理ト云フモノダケニ付テ差

引計算ヲ爲サレテ、是レ々々ノ減額ニナ

ルト云フコトヲ說明サレタノデアリマ

ス、是ハ甚ダ私ハ不思議ニ感ズル、何故

ニ關稅ノ方ノ増減、是モ引括メテ總括的

ニ差引勘定ヲ爲サレナカッタカ、詰リ大

藏大臣ハ全體ノ差引勘定ヲスルト増稅

ニナルト云フ事實ヲ現ハスコトガオイ

ヤナ爲ニ、殊更ニ關稅改正ノ名ノ下ニ

是ハ除外サレタノデハナイカ、例ヘバ

豫算案ノ中ニ、右ノ整理ニ因リ平年度

ニ於テ租稅收入ノ減少致シマスモノ

ガ、所得稅法ノ改正ニ因リ千二百餘萬

圓、地租條例ノ改正ニ因リ二千七百七

餘萬圓、織物消費稅法ノ改正ニ因リ二

千五百三十餘萬圓、營業稅法ノ廢止ト

營業收益稅ノ創設ニ因リ差引四百十餘

萬圓、通行稅法ノ廢止ニ因リ千六百十

餘萬圓、醬油稅法ノ改正ニ因リ七百十

餘萬圓、賣藥稅法ノ廢止ニ因リ千十萬

餘圓、計九千三十餘萬圓デアリマシテ、

其増加致シマスモノハ、相續稅法ノ改正

ニ因リ六百二十餘萬圓、酒稅ノ増徴ニ

因リ三千三百八十餘萬圓、骨牌稅ノ増

徴ニ因リ五十餘萬圓、煙草定價ノ引上

稅ノ創設ニ因リ千四百八十餘萬圓、清

涼飲料稅ノ創設ニ因リ四百三十餘萬

圓、計八千二百餘萬圓、増減差引八百三

十餘萬圓ノ減少デアリマス、斯様ニ申

サレテ居ルノデアリマス、成程是ダケ

ノ差引勘定ヲシマスレバ、正シク八百

三十餘萬圓ノ減少ニナル、此減少ヲ關

稅ノ改正ニ依テ補フトハ何故仰セニナ

ラヌノデアアルカ、國民ノ負擔ト申ス點

カラ云ヘバ、何等是ハ違ヒガナイノデ、

私共ガ煙草ヲ吹カスニ致シテモ、日本ノ

煙草ヲ買ツタ場合ニハ右ノ「ボケツト」カ

ラ金ヲ出ス、西洋ノ煙草ヲ買ツタ時ニハ

左ノ「ボケツト」カラ出サウトモ、詰ル所

一ツノ「ボケツト」カラ出ル、國民ノ負擔

デアアル、斯ウ云フ點カラ云ヘバ少シモ

違ヒナイ、況ヤ同ジ大藏大臣濱口君ガ

此改廢ノ案ヲ御出シニナリ、同ジ議會

ニ御出シニナリ、唯委員會ガ隣リノ部屋

デヤツテ居ルト云フダケノ違ヒデアアル、

私ハ此場合總額ニ付テ増減差引ノ計數

ヲ正直ニ御現シニナルノガ當然ダト思

フ、大藏大臣ハ正直ニシテ大膽ナル政治

家ト云フコトハ世ノ中モ既ニ承知致シ

テ居ルノデアリマス、然ルニ此關稅ノ

方ダケヲ度外シ——關稅ヲ入レ、バ千

百餘萬圓ノ増稅ニナルノデアアル、唯此

増稅ニナルト云フコトガオイヤサニ、斯

ノ如キ小策ヲ用ヒラレタト申ス如キ疑

ガアルノデアリマス、何故ニ之ヲ合計シテ御示シニナラナカッタカ、昨日税制ノ委員會ニ於テ、大藏大臣ハ關稅ノ方ト稅制整理ハ全ク別問題デアアル、關稅ノ改正ハ稅制整理ニ志ス内閣タルト然ラザルトヲ問ハズ是ハヤラナケレバナラス問題デアアル、ソレデアアルカラ之ヲ別ニシタト云フ御答デアッタノデアリマス、併ナガラ稅制整理ニ志ス内閣、此大藏大臣濱口君ガ稅制整理ヲヤル爲メ關稅ノ改正モヤラレタ、之ヲ區別シナケレバナラス必要ハ何處ニモナイ、關稅ノ改正ハ是ハ改正デアッテ整理デナイト御認メニナルノデアリマス、關稅ニ對シマシテモ矢張増減ハ之ヲ適當ニ爲サレタモノデアラウト思フ、或ハ從量稅ノ關係、甚ダ不當デアッタモノヲ今同之ヲ改メ、改正デアッテ而シテ是ハ整理デアアル、又無稅ニスルノガ適當デアルト認メテ之ヲ廢稅ニシタモノモアル、是等モ矢張改正デハアルガ同時ニ整理デアアル、何故ニ正直ニ大膽ニ總テノ差引勘定ヲシテ、是ダケノ増稅デアルト云フコトヲ御示シニナラナカッタノデアアルカニ對シテ先ヅ御答辯ヲ求マヌ

○濱口國務大臣 御答致シマス、稅制整理ノ問題ト關稅改正ノ問題トハ、政府ハ全然別箇ノ問題ト思ッテ居リマス、關稅定率ノ改正ト云フコトハ、御承知ノ通り十數年ニ亙リマシテ朝野多年ノ懸案デアリマス、而シテ政府ハ之ニ依

リ國民ノ負擔ヲ増加シ、若クハ減少スルト云フ目的ハ少シモ持ッテ居ナイ、即チ内外ノ經濟界、產業界ノ十數年間ニ於ケル變遷ノ狀態ニ鑑ミテ、内地ノ產業ヲ適當ニ保護スル、又他ノ一面ニハ國民生活ノ安定ヲ期スルト云フコトガ目的デアリマシテ、國庫ガソレニ依テ増收ヲ圖ルト云フ目的ハ持ッテ居リマセヌ、又減收ヲ圖ルト云フ目的モ持ッテ居リマセヌ、固ヨリ多數ノ輸入品ニ付テ保護稅ヲ課シテ内地ノ產業ヲ保護スルト云フ主義ヲ執ルコトハ、是ハムヅカシイ事デアアルガ、唯内地產業ノ狀態ニ鑑ミテ、今少シ保護ヲ厚クシナケレバ、折角起リ掛ケテ居ル所ノ重要產業モ再ビ廢滅ニ歸スルト云フ憂ガアル、又此率ヲ上ダレバ、今迄ハ無カタ產業デアッテモ將來ニ於テ勃興スルト云フ見込モ十分デアルト云フ物ニ限ッテ、外國ノ輸入品ニ對シテ相當ニ競争ノ出來マス其最少限度ニ於テ稅率ヲ引上ゲタ、即チ是ハ產業保護ノ目的ガソレデアリマス、其間ニ於テ關稅ノ増徴ニ依テ國庫ガ増收ヲ圖ルト云フ考ヲ以テ計畫シタ改正デハナイノデアリマス、又一面ニ於テハ國民生活ノ安定ト云フコトニ對シテモ相當ナル考慮ヲ拂ヒマシテ、即チ生活ノ必要品、殊ニ或種類ノ食料品、其他原料品、材料品ト云フモノニ對シマシテハ、此品表ニ依テ御覽ニナリマス通り、或モノハ之ヲ据置キ、或モノハ之ヲ輕減シ、或モノハ無稅ニスルト

云フヤウナ方法ヲ執ッテ居リマス、其生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトガ第二點、第三點ハ本會議ニ於テモ申上ゲテ置キマシタ通り、從量稅ト從價稅トノ不均衡ヲ或ル程度ニ於テ適當ニ矯正スル、此三ツノ點ニ重キヲ置イテ計畫シタル所ノ關稅ノ改正デアリマス、是ハ明治四十三年以來非常ニ内外ノ狀勢ガ變テ參リマシタ、殊ニ世界ノ大戦ヲ經マシタ今日ニ於テ、明治四十三年ニ一般の改正ノ行ハレマシタ當時トハ、餘程内外ノ經濟界ノ事情モ變ッテ來タノデアリマス、此大ニ變化シタル所ノ經濟界ノ狀況ニ照シマスト云フト、一日モ其儘ニ放任シテ置ク譯ニハ參ラヌト云フ所カラシテ企テラレタル關稅ノ改正デアリマス、其間國庫ノ増收ヲ圖ルトカ、或ハ減收ヲ圖ルトカ云フ目的ハ、繰返シテ申シマス通り持ッテ居リマセヌ、唯右申上ゲマシタ三ツノ點カラ改正案ヲ立テタ、其結果ガ自然ニ平年度ニ於テハ千九百餘萬圓ノ増收ニナリ、十五年度ニ於テハ七百五十萬圓ノ増收ニナッタト云フ止ッテ居リマス、然ルニ稅制整理ノ問題ハドウカト云フト、結論ニ於テハ歲入ニ著シキ増減ヲ生ゼシメナイト云フコトヲ目的ニシマシタガ、是ハ屢繰返シテ説明シマシタ通り負擔ノ公正ヲ期シ、租稅ノ體系ヲ正シ其一面ニ於テ出來ルダケ社會政策的ノ效果ヲ現ハシ、產業ノ發展、事業ノ基礎ノ鞏固ニナルコトニ貢獻シタイ、斯ウ云フ

考デ各稅ノ按排ヲ致シマシタガ、其結果或モノハ之ヲ廢シ、或モノハ之ヲ減ジ、或モノハ之ヲ増シ、或モノハ之ヲ新設スルト云フ場合ニ於テハ、即チ國民ノ負擔ヲ或ル場合ニ於テハ減ズルコトヲ目的トシ、他ノ場合ニ於テハ増加スルコトヲ目的トスル、即チ生活ノ必需品ニ對スル免稅ニ付キマシテハ、明カニ國民ノ負擔ノ減少ヲ初カラ目的トシテ居リマス、其代リ新稅、増稅ニ於テハ、明カニ國民ノ負擔ヲ増加スルコトヲ目的トシ、其ノ差引只今堀切君ノ仰セノ通り、平年度ニ於テハ八百三十萬圓ノ減少ニナッテ居リマスガ、大體稅制整理ノ目的ハ、國民ノ負擔ノ増減ト云フコトヲ直接ニ目的ト致シテ計畫ヲ致シタモノデアリマス、關稅ノ改正トハ其目的ヲ異ニシ、其由來ヲ異ニシテ居リマス、隨テ稅制整理ニ因ル増減ト、關稅ノ改正ニ因ル所ノ増減ト、差引國民ノ負擔ガ減タタカ殖エタタカ云フコトヲ申スベキモノニアラズト信ジマシタカラ、是ハ別問題トシテ申上ゲタノデアリマス

○堀切委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ヲ承リマシテ、一向私ハ疑念ガ霽レナイノデゴザイマス、成程關稅ヲ改正セラレマシタ目的ハ、只今御述ベノ通り、永イ間ノ懸案ヲ之ニ依テ解決スル目的カラ出タモノニ相違ナイ、併ナガラ此目的ノドウデアッタ斯ウデアッタト云フコトト結果トハ別問題デアリマス、只今

モ大臣ノ御説明ノ如ク、税制整理ノ眼
目トシタ所ハ負擔ノ増減ト云フ點ニ
アツタ、然ルニ關稅ニ於テ千九百萬圓ノ
増加、此増加ハ國民ノ負擔ニ關係ナ
ト御考ニナルノデアリマス、先ヅ之
ヲ承リタイ

○濱口國務大臣 關稅ノ改正ニ因リ平
年度ニ於テ千九百萬圓ノ增收ガ出
テ來ルカ、ソレガ國民ノ負擔ニ關係ガ
ナイカト云フ御質問デアリマス、ソレ
ハ關係ガナイトハ申シマセヌ、或モノ
ハ關係ガアルシ、或モノハ關係ガナイ、
絶對ニ關係ガナイトハ申シマセヌ、先
刻モ申シマシタ通り、大體ガ内地ノ重
要産業ノ保護ト云フコトガ主タル目的
デアリマス、國民ノ生活ノ安定モアリ
マス、從價稅ト從量稅トノ不權衡ヲ正
スト云フ目的モアリマスガ、大體重要
産業ノ保護ガ目的ニナツテ居ル、其重
要産業ヲ保護スル場合ニ於テ、關稅ヲ
上ゲタ結果ガ其稅率ノ上ツタダケソレ
ダケ總テハ品物ノ價格ガ騰貴スルカト
云フト、是ハ大ナル問題デアラウト思
ヒマス、私ガ或ル場合ニ於テハ國民ノ
負擔ノ増加ニナリ、或ル場合ニ於テハ
増加ニナラナイト申シタノハ其點デア
リマス、關稅ノ引上ニ因ツテソレダケ其
物價ガ騰貴スルカト云フコトハ、是ハ
重大ナ經濟問題デアリマス、私ハソレ
ダケ騰貴スルトハ思ツテ居リマセヌ、是
ハ其品物ニ付テ一々綿密ナ調査檢討ヲ
加ヘタ後デナケレバ、ソレヲ明言スル

コトハ甚ダ困難デアラウト思ヒマス、
例ヘバ或ル品物ニ付キマシテ、今日外
國品トノ競争ニ堪ヘ兼ネテ、内地ノ產
業ガ氣息奄々トシテ居ルモノガアルト
假定致シマス、ソレヲ關稅ヲ引上ゲテ
保護スルコトヲセズニ其儘ニ致シテ置
キマス、或ハ虞ル、其産業ガ遂ニ外國
品トノ競争ニ堪ヘズシテ廢滅ニ期スル
虞レガアル、私ハサウ云フ場合ガ少ク
ナイト思フ、若シサウ云フモノガアツタ
時ニ於テ、其外國品ハ最早日本内地ノ
生産品ト競争スル虞レガナクナル、是
ニ於テ其種類ノ外國品ハ殆ド内地ノ市
場ニ於テ專賣的ノ價格ヲ維持スルコト
ガ出來ル場合ガアラウト思ヒマス、サ
ウ云フ場合ニ於テハ關稅率ヲ引上ゲナ
カッタ結果却テ物價ガ騰貴シ、ソレニ依
テ國民ノ負擔ガ増加スル結果ニナリマ
ス、然ル場合ニ於キマシテソレヲ放任
スルコトヲ止メマシテ、關稅率ノ引上
ニ依テ將ニ減ビントスル内地産業ノ保
護ノ目的ヲ達シ得タト致シマス、一
時ハ關稅ノ上ツタダケ品物ガ高クナル
傾向ハアリマスガ、其關稅ノ恩澤ニ依
テ内地ノ産業ガ發達シタ曉ニ於テハ外
國品ノ輸入ガ杜絶スル、若クハ著シク
減少スル、サウシテ内地ニ於テ大量生
産ガ行ハレルコトニナリマス、内地
ノ生産費ハ關稅率引上ノ前ヨリ却テ減
少ヲ致シ、其當該貨物ノ値段ガ前ヨリ
モ下ル場合ガアリ得ルト思ヒマス、又
或ル品物ニ於テハ關稅率ヲ引上ゲマシ

タカラ、ソレダケ直ニ其品物ノ値段ガ
上ガルカト云フニサウデナク、少シモ
上ラヌ場合ガアラウト思ヒマス、ソレ
ハ此稅目ノ中デモ指摘スルコトガ出來
ルト考ヘマス、クレドモ、今ドノ品物ト
云フコトノ思ヒ當リマセヌカラ、其品
物ハ申シマセヌクレドモ、甲ナラ甲ト
云フ品物ノ輸入稅ヲ上ゲマス、サウス
ルト内地ノ其品物ノ生産ガ盛ンニ興リ
マス、サウスルト是マデ設備ヲシテ居
ツタ機械力、總テノ製造能力ヲ、是マデ
半分シカ使ツテ居ナカッタモノヲ關稅引
上ノ結果ニ依テ全部使フコトガ出來
ル、全能力ヲ發揮シテ其機械ヲ運轉セ
シメ、設備ヲ十分ニ利用スルコトガ出來
ルト云フコトニナリマス、大量生産
ノ結果カラ生産費ガ減少シ價格ガ下落
スル、少クトモ騰貴シナイト云フ場合
モアラウト思ヒマス、ソレ故ニ關稅ノ
引上ノ結果ハ、必シモ國民ノ負擔ガソ
レダケ増加スルトハ斷定ガ出來ナイト
思ヒマス、要スルニ其品物ニ依リ其場
合ニ依テ各異ツタル結果ガアリ得ルト
考ヘマスカラ、千九百萬圓ノ增收
ガ直ニ國民負擔ノ増加ニナルト云フ御
質問ニ對シテハ、其通りデアリマス、
申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス

○堀切委員 大藏大臣ハ御自分ニ有利
ナ方面ノ御説明ハ長イコト爲サレマ
スガ、質問ノ主眼ニ對シテハ甚ダ簡
單ニ御答辯ニナツテ居ル嫌ガアルノデ
アリマス、成程關稅ノ全部ガ内地消費

者ノ負擔ニナラナイ場合モアリマセ
ウ、ソレヲ無イト私ハ申スノデハアリ
マセヌ、併ナガラ其關係カラ云ヘバ、内
地ノ稅或ハ專賣品等ニ付テ同様デアリ
マス、例ヘバ政府ガ煙草ノ値上ヲシタ、
併ナガラ値上ヲシタダケノ其全部ガ消
費者ノ負擔ニナルト云フ點モ考ヘ得ル
デアリマス、例ヘバ專賣局ニ於テモウ
少シ内部ノ整理ヲヤリ、或ハ生産ノ技
術ヲ進歩セシメ、立派ナ機械ヲ輸入ス
ル、斯ノ如キ手段方法ニ依テ所謂生産費
ヲ減ジ、之ニ依テ消費者ノ負擔ヲ増サ
シメナイ方法ハ、是ハ内地稅ニ於テモ
同ジデ、營業稅ニ於テモサウデアル、或
ハ地租、所得稅等ニ於テモ、稅ノ全部ガ
必シモ物價ノ上ニ影響ヲ及ボサヌ例ハ
幾ラモ擧ゲ得ルダラウト思フ、併ナガ
ラ大體カラ申シマシテ、稅ハ物價ヲ高
クスルモノダト云フコトハ是ハ疑ヒナ
イ、故ラニ是ハ内地ト外國、ドチヲ買
ツテ國民ガ消費シテ居ルカラ物價ガ高
クナルト云フ問題ハ問フニ及バヌ、現
ニ關稅ヲ高クシテ保護シテ居ル國ハ物
價ガ高ク、自由貿易ヲヤツテ居ル國ハ物
價ガ一般ニ安イ、デソレヲ以テ國民ノ
負擔ニ關係ナシト申サレタノハ餘リニ
獨斷的ノ源論デアルト私ハ思フ、併シ
此點ニ付キマシテハ、大藏大臣ハドウ
云フモノカ増稅ノ數字ヲ上ゲラレルノ
ヲ御嫌ヒデアアルヤウニ思フ、飽迄モ是ハ
別ナモノダト仰シヤル以上ハ仕方ガナ
イ、濱口藏相ハ堅白異同ノ辯ヲ爲サル、

白馬ハ白馬ニシテ馬ニ非ズ、昔ノ詭辯家ノ辯ヲ學ンデ居ルト遺憾ナガラ認メザルヲ得ナイ、此點ハソレダケニシテ置キマス、サウシテ次ノ質問ニ移リマス、過日大藏大臣ニ對シテ吉植庄一郎君ノ爲サレマシタ質問演說ノ中デ、同君ノ豫算内示會ニ於テノ質問ニ對シテ、大藏大臣ハ關稅ハ其全部消費稅デアルト云フコトニ異議ガアルト申サレタ、成程關稅ノ全部ハ消費稅デナイカモ知ラス、併ナガラ大多數ノモノハ消費稅ト云フコトニ異存ガアルマイ、斯様ニ吉植君ガ申サレタ、私ハ大藏大臣ノ御說ニモ、吉植君ノ御質疑ニモ疑議ヲ挾マザルヲ得ナイ、關稅ノ全部ガ消費稅デナイ、斯ウ御斷定ニナッタ大藏大臣ノ御趣意ハ、果シテドウ云フ所ニアルカ之ヲ承リタイ

○濱口國務大臣 第一ノ點ニ付テハ御質問ヲ御止メニナッタヤウデアリマスガ、私トシテハ一言申サナケレバナラヌト思ヒマス、關稅ハ稅制整理ノ問題トハ全然別ノ問題デアアルコトヲ私ハ堅ク主張致シマス、又左様デアルト確信致シテ居ル、別ニ堅白異同ノ言辭デモ何デモナイ、是ハ當然ノ事デアリマス、關稅ノ引上ノ結果國民ノ負擔ノ増加スルモノモアリマセウ、私ハ絶對ニ無イトハ初カラ申シテ居リマセヌ、是ハ物ニ依テハ國民ノ負擔ノ増加ニナルモノガ無論アリマス、併ナガラ是ハ已ムヲ得ナイト考ヘマス、國民ノ負擔ヲ増加

セシメル目的ヲ以テ行フ所ノ關稅ノ改正デハナイ、内地ノ重要産業ヲ保護獎勵シテ、サウシテ外國トノ競争ニ打勝ツト云フコトヲ目的トシテ行フ所ノ關稅率ノ引上ガ、國民ノ負擔ノ増加ニナッタ所デ、是ハ已ムヲ得ナイ場合ガアラウト考ヘマス、若シ關稅ノ引上ト云フコトハ、總テノ場合ニ於テ國民ノ負擔ノ増加ニナルカライケナイト云フ譯デソレヤライナイ、關稅ノ増加ハシナイコトニスレバ、其結果内地ノ産業ガ不振ニ陥ッテ、到底外國人ト競争ガ出來ナイトスレバ、是ハ却テ惡イ結果ヲ大體ノ上ニ於テ生ズルト思ヒマス、或ル場合ニ於テ内地ノ重要産業ヲ保護スル爲ニ、關稅ノ引上ヲヤッタ、ソレガ爲ニ國民負擔ノ増加ニナッタモ、是ハ已ムヲ得ナイ場合ガアルト信ジテ居リマス、若シ堀切君ノ御趣意ガ、關稅ノ引上ハ國民ノ負擔ノ増加ニナルカラ宜シクナイト云フナラ、關稅ノ改正ハ行ハレヌト云フコトニナリマス、繰返シテ申上ゲマススケレドモ、是ハ産業保護ノ目的、國民生活安定ノ目的、從價稅ト從量稅トノ不權衡ヲ正ス目的ヲ以テ行ッタモノデアツテ、毫モ國民ノ負擔ヲ増加セシメル目的ヲ以テ行ッタモノデアリマセヌ、又此沿革カラ考ヘマシテモ、目的カラ考ヘマシテモ、ドノ點カラ考ヘマシテモ、此度ノ稅制整理トハ全然別箇ノ問題デアルカラ、其結果タル所ノ歲入ノ増減ハソレヲ差引セラルベキモノデナイ、

斯ウ云フコトヲ先ヅ申上ゲテ置キマス、第二ノ御質問ハ一寸分リ兼ねマシタガ、本會議ニ於テ吉植君ノ御質問ニ對シテ私カラ御答ヲ致シタ、其點ニ付テノ御質問デアッタヤウデアリマスガ……

○堀切委員 其點ニ付テモウ一度申上ゲマセウ、私ハ關稅増徴ノ結果ソレガ善イトカ惡イトカ云フコトヲ一言モ申シテ居ラナイノデアリマス、是ハ能ク御諒承ヲ願ヒタイ、唯此度ノ一千九百三十萬圓ト云フ増稅ノ結果ガ現ハレタ、斯様ニ申スノデアアル、而シテ今回ノ改正モ矢張稅ニ相違ナイ、併シ關稅ハ沿革ガ違フ、目的ガ違フ、斯ウ言ッテ強テ區別ヲナサルハ、白馬ハ白馬ニシテ馬ニ非ズ、斯様ニ申サレルト同ジダ、斯様ニ申スノデアリマス、成程目的ハ違ッタカモ知レマセスケレドモ、結果ノ上ニ於テ増稅トシテ現ハレテ居ルノデアリマス、千九百萬圓ノ増加ニナル、此事實ヲ御認メニナルカ、是ヲモ否定ナサルノデアリマス、ソレカラ第二ノ質問ハ、豫算内示會ニ於テ關稅ハ消費稅デアルト云フ斷定ヲ致シタノニ對シテ、大藏大臣ハ關稅ノ全部ヲ消費稅ト認メラレルコトニ付テハ大ニ異議ガアル、斯様ニ申サレタ、ソレニ對シテ吉植君ハ過日ノ本會議ニ於テ成程關稅ノ全部ガ消費稅デアルト云フコトハ、異議ガアルカモ知レヌ、併シ其大部分ガ消費稅デアルト云フコトニ對シテハ異議ガ

アルマイ、斯様ニ吉植君ガ申サレタ、之ニ對シテ大藏大臣ハ本會議デ何等ノ御答辯ヲ爲サラナカッタ、併シ豫算内示會ニ於テ關稅ノ消費稅ト云フコトニ異議ヲ申立テラレタ、然ラバ私ハ御伺致シマス、關稅ノ中デドウ云フ部分ガ消費稅デナイノデアリマス、之ヲ御伺致シマス

○濱口大藏大臣 前段ノ御質問ニ對シテ御答ヲシマス、ソレハ數字上ノ事實ヲ申セバ、稅制ノ整理ニ依テ平年度ニ於ケル國庫ノ收入ノ減收ガ八百三十萬圓、是ガ大正二十二年以以降デアリマス、是ハ正ニ其通りデアリマス、ソレカラ關稅ノ改正ノ結果トシテ當然國庫ノ增收ノアリマスモノガ、平年度ニ於テ千九百三十萬圓、其千九百三十萬圓ノ增收カラ稅制整理ニ因ル所ノ八百三十萬圓ノ減收ヲ差引キマスレバ、差引增收トシテ殘ルモノガ千九百餘萬圓、其通りデアリマス、ソレデ目的ノ違ッタモノ、沿革ノ違ッタモノ、其目的ノ如何、沿革ノ如何、性質ノ如何ト云フコトニ拘ラズ、其結果タル數字ダケヲ比較ニナリマス——ソレヲ差引カレルト云フコトハ御隨意デアリマスガ、強テソレヲハ明ニ認メルノデアリマス、併ナガラ稅制ノ整理ノ結果トシテ差引スベキモノト云フモノハ、獨リ關稅ノ整理ノ增收ノミデアリマセヌ、政府ガ豫算ヲ編成スル上ニ於テハ經常歲入ニモ種

種ナ科目ガアリマス、印紙收入、官有、官業ノ收入、雜種稅ノ收入等種々ナモノガアリマス、臨時部モアリマス、ソレヲ差引イテ始メテ歳入ノ豫算ガ出來ル、ソレハ結果トシテ當然出來ル、ソレヲ御差引キニナルコトハ是ハ無論差支ハナイト考ヘマス、併シ何處マデモ物ハ違ッテ居リマス、是ハ明ニ申シテ置キマス、第二點ニ付テハドウモ私ニハ分ラヌ、吉植君ノ御質問ノ關稅ハ消費稅デアルカナイカ、抑ソナ事ヲ質問スル必要ガ何處ニアルカ、ドノ點ガ消費稅デアルカ、ドノ點ガ消費稅デナイカト云フ議論ヲスル必要ガアルカト云フコトヲ、其當時モ考ヘテ居リ、又今デモ考ヘテ居ル、強テソレヲ御論及ニナラウト云フナラバ、ソレハ承ッテモ宜イガ、何故ニサウ云フ議論ヲシナケレバナラヌカ、消費稅ト云フモノハ、内地消費稅ト云フモノガ本當ノ消費稅デアル、ソレヲ關稅ノ全部ガ消費稅デアルトカナイトカト云フ、ハ一體ドウ云フ譯カ分リマセヌガ、關稅ノ増徴ノ結果トシテ或消費物ノ値段ガ上ガリマス、ソレヲ消費スル者ハ其負擔ヲ受ケマスカラ、消費稅ト云ッテ一向差支アリマセヌ、ソレカラ機械類ニ對シテ關稅ヲ引上ゲル、其結果トシテ其機械ヲ利用シテ出來マシタ所ノ品物ノ價格ガ幾分か上ガルト云フ傾向ガアルカラ、其品物ヲ消費シタ人々ニ對シテハ消費稅ガ上ガッタト云フコトモ言ヒ得ルト考ヘマスガ、

初ニモ申シマシタ通り、關稅引上ノ結果内地ノ生産ガ増加致シテ、却テ生産費ガ下ガル場合ガアリマス、サウナリマストハ消費稅デナクナルト思ヒマシ、機械ニ對シテモ同様、食料品ニ對シテモ同様、サウ云フ場合ニ於テハ却テ品物ノ値段ガ下ガルト云フ結果ニナルカラ、是ハ消費稅デハナイト云フコトモ言ヒ得ルト思ヒマス、ソレハ一事一物ニ付テ論ゼヌト云フト、概論ハ甚ダ掘切君モ能ク御承知デアリマセウガ、一昨年ノ特別議會ニ於テ兩院ノ協賛ヲ經テ實行致シテ居リマス贅澤品ニ對スル所ノ關稅ノ増徴、是ハ從價十割ト云フ非常ニ高イ率デアリマス、サウ云フ高イ率ヲ課シタ結果ハ然ラバ贅澤品ノ値段ガ十割内地ニ於テ上ガッテ居ルカト云フト、ソナ事ハ決シテアリマセヌ、其贅澤品ニ對スル所ノ課稅ノ率ノ高クナッタニ拘ラズ、課稅ヲ受ケテ居ル其贅澤品ノ内地ニ於ケル價格ノ變動ト云フモノハ、殆ド見ルベキモノハナイノデアリマス、一般ノ物價ノ騰貴率ニ比較致シマス、少シモ變ッテ居ナイト云フヤウナ狀況デアリマス、關稅ヲ引上ゲタナラバ、ソレダケ内地ノ國民ノ負擔ガ増加スルモノトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、即チ消費稅デナクナル場合ガ多イデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

御說明ト申スヨリ外ナイ、先ツ第一段ノ同ジ稅制整理デアリ、同ジ負擔デアリ、同ジ大藏大臣デアリナガラ、何故總括的ニ差引計算ヲシテ増減ヲ示サナイカト云フ質問ニ對シテ、色々御辯明ガアリマシタガ、其御辯解ハ識者ハ到底之ヲ諒トスルコトハ出來マセヌガ、是ハ先ヅ打切ッテ置キマシテ、第二ノ關稅ガ消費稅デアルカナイカト云フコトヲ議論ヲスル必要ハナイト思フ、又贅澤品ニ課シタ關稅ハ消費稅ニアラザル場合モアルト云フガ如キ說ヲ承ハルニ至ッテハ、實ニ驚キ果テタル次第デアリマス、何故私ガ斯様ナル問題ヲ出シタカ、之ヲ聞キタイト仰シヤルガ、私ガ斯様ナ問題ヲ出シタ理由ハ、各種ノ稅ニ對シテ改廢増減ヲ試ミラレ、稅制ノ上ニ非常ナル斧鉞ヲ加ヘラレタル大藏大臣ガ、稅ニ關スル觀念ガ甚ダ私ハ缺乏シテ居ヤシナイカ、斯様ニ感ジタカラ此問題ヲ出シタ、其一例トシテ直接關係ハ無いノデアリマスガ、左様ナ御質問デアリマスカラ申上ゲルガ、例ヘバ今回ハ營業收益稅ト申スモノ——營業稅ハ現在我國ニ於テ行ハレテ居テ、ソレガ收益稅デアリマス、外形標準ニ依テ之ヲ課稅スル、「エルトラ」グ、ストイヤール、之ヲ日本デハ譯シテ收益稅ト申シテ居リマス、所ガ今回大藏大臣ハ之ヲ實益ヲ標準トシテ課稅スルコトニ改メタ、斯様ニ申サレル、實際ノ利益ヲ標準トシテ課稅ヲスルモノハ所得稅デ

アリマス、所得稅ニナッテシマッタ、所得稅ニナッタモノヲ稱シテ營業收益稅ト云フ名前ヲ付ケテ居ル、私ハ此名前ノ付ケ様カラ間違ッテ居ルト思フ、今日マデノモノヲ營業收益稅ニシタノハ、唯世ノ中デ收益稅ニシテ吳レト云フコトヲ叫ンデ居タノデアリマス、併ナガラ實際今日マデ行ハレタ外形標準ニ依テ、斯ウ云フ資本ヲ持チ、斯ウ云フ設備ヲ爲シ、斯ノ如キ規模ニ於テ營業スルナラバ、大略是ダケノ收入ガアル筈ダ、斯ウ判斷ヲシテ、收入ヲ豫想シテ之ニ課シテ行クノガ收益稅、實際ノ利益ヲ調査シテ之ヲ標準トシテ課稅スルノハ、即チ所得稅デアリマス、折角收益稅デアッタモノヲ所得稅ニ變ヘテ、サウシテ營業稅ヲ營業收益稅ニシタト云フコトハ、是ハ世俗ヲ迷ハスダケデアリマス、大藏大臣トシテ稅ノ種類ニ對シテ、果シテ正當ナル御考ヲ御持チニナッテ居ルノカドウカ、是ガ私ノ疑問デアッタ、ソレカラモウ一ツハ此間本會議ニ於テ一例トシテ御舉ゲニナッタ通行稅ノ場合、通行稅ハ直接國稅デアルト云フコトニ對シ大多數ノ人ハ異議ハアルマイ、斯様ニ大藏大臣ハ御述べニナッタノヲ御記憶デアリマセウ、是モ甚ダ不思議ト思フ、多數ノ人々ハ通行稅ハ直接國稅デアルト云フ御判斷ニ對シマシテハ大ニ異論ガアル、其大キナ證據ハ、選舉法ニ於テドウナッテ居リマス、昨年マデノ選舉法、直接國稅三圓以上ヲ納メル者ハ選舉有

權者デアッノデアリマス、其有權者ノ中ニハ、幾ラ濱口君ノ選舉區ト雖モ、消費稅ヲ拂ッテ居ル人マデ御入レニハナッテ居ラヌト思フ、電車ニ乗ッタコトガアル、濱口君ノ選舉區ノ人ガ東京ニ來テ、一回往復シテ通行稅ヲ拂ッタカラト云ッテ、此人ヲ有權者ニ御入レニナッテハ居マイト思ヒマス、入レテナイノハ、明カニ通行稅ハ直接國稅ニ入レルト云フコトニ大ニ異議ガアル爲メデアリマス、ソレヲ入レテ——色ミノ見方ハ是ハ付カナイ譯デアアリマセヌケレドモ、本來之ヲ直接國稅ノ中ニ入レテ、而シテ何人モ異議ガナイト御斷定ニナルノハ、是ハ甚ダ早計デアラウト私ハ考ヘル、同時ニ此關稅ニ對シマシテモ、關稅表中六七百ノ稅種ガアリマスガ、此中一品デモ宜シイカラ、消費稅デナイノヲ指シテ御覽ナサイ、御指シニナルコトガ出來マスマイ、只今ノ御議論ノヤウニ、贅澤品關稅ハ消費稅デナイト云フヤウナ御議論ヲ爲サルノハ、抑是ハ經濟論ノ根本觀念ヲ御忘レニナッタ結果ダラウト思フ、金ヲ出シテ物ヲ買ッテソレヲ使フノハ、是ハ消費デス、成程機械ヲ買ッテ場合ニハ、直グニ其機械ハ無クナッテシマハナイカモ知レヌ、無クナッテシマハナイカモ知レヌケレドモ、毎日々々使ッテ居ル間ニ、是ハ消費サレテ居ルノデアリマス、茶ヲ輸入シタトカ、珈琲ヲ輸入シタトカ、煙草ヲ輸入シタトカ云ヘバ、煙草ナラ煙草ヲ一

本喫ッテシマヘバ、直グニ是ハ消費サレテシマフ、著物ヲ買ヘバ二三年ハ繼續致シマセウ、併ナガラ毎日々々著物ヲ著テ居ル間ニ消費サレツツアルノデアリマス、機械ヲ買入レテ關稅ヲ拂ッテモ、其機械デ生産事業ヲヤッテ、物價ガ却テ安クナルカモ知レナイ、左様ナ場合ニハ消費稅デハナイ、或ハ贅澤品ハ稅ヲ課シテモ、物ノ價ハ上ッテ來ナイ場合ガアル、斯ウ云フ場合ニハ其贅澤品關稅ハ消費稅デナクナルナドト仰セラレルノハ、是ハ租稅論ノ根本觀念ヲ御忘レニナッタ結果ダラウト思フ、左様ナ議論ハ今日何人モ租稅論ノ一頁デモ讀ンダ者ハ首肯スルコトハ出來ナイ、大藏省デ毎年法學士ヲ御採リニナル試驗ヲナサル、其試驗ヲスル際ニ、贅澤品關稅ハ消費稅ニアラザルヤ否ヤ、之ニ對シテ只今大藏大臣ノ御述べニナッタヤウナ返答ヲシタ者ガアッタナラバ、是ハ落第ニ極ッテ居リマス、私ハ左様ナル疑念ヲ持ッガ爲ニ、此關稅幾百ノ稅種ノ中デ消費稅デナイモノガ果シテ一ツデモアルカナイカ、アルナラバ是ガサウダト、ソレヲ仰シヤッテ戴キタイ

○濱口國務大臣 謹ンデ伺ッテ居ルガ、問題ノ中心ガ私ニハ分ラヌ、ソレハ宜シイトシテ私ノ見ル所ヲ申上ゲマス、通行稅ノ御話モ出マシタ、營業收益稅ノ話モ出マシタガ、是ハ枝葉ノ問題デアラウト考ヘマスケレドモ、大體其租稅論ノ根本觀念トカ、財政學ノ一頁トカ云フ說ガ盛ニ出ルカラ、一應申サナケレバナラヌ(笑聲起ル)通行稅ハ消費稅ト考ヘテ居リマス、其様ニ思ヒマス

○堀切委員 直接國稅ニ異議ガナイカドウカ

○濱口國務大臣 直接國稅デアリマス、明ニ直接國稅デアリマス、選舉法ニ書イテナイカラ直接國稅デナイト云フコトハ言ヘナイ、選舉法ニハ相續稅ガナイ、相續稅ガ書イテナイカラ、相續稅ハ消費稅ニアラズト云フ斷定ヲ下サルナラバ、ソレハ堀切君ノ御隨意デアアルガ、ソレハ衝突スル虞ガアルト考ヘテ居ル、サウ云フ問題ハ深ク論ジナイデ宜カラウト思フ、要スルニ堀切君モ一例トシテ御舉ゲニナッタノデ、別ニソレガ論點ニナサツタノデアリマセヌカラ、其程度ニシテ置キマス、ソレカラ贅澤稅ガ消費稅デアルカナイカト云フコトヲ闢ハス必要ガアルカナイカ、私ノ申シマシタコトハ、大體ガ關稅ノ引上ヲヤッテモ、其結果物ニ依テ其品物ノ値段ガソレダケ上ル場合ト、上ラヌ場合ト、又反對ニ下ガル場合ガアル、ソレ故ニ國民ノ負擔ガソレダケ増加スルトハ必シモ言ヒ得ナイ、一面内地ニ於ケル工業能力ガ發達ヲシテ、大量生産ガ行ハレマスカラ、商品ノ價格ガ上ラヌト云フ場合デナク、外國品ガ原價ヲ下ゲテ參リマス、日本ノ關稅ガ増ス、ソレヲ負擔スルト云フト、ソレダケ日本ノ内地ニ於テ高ク賣ラナケレバナラヌ、高ク賣ル

ト云フト消費ガ減ル虞ガアルカラト云フノデ、外國ノ製造會社ガ勉強致シマシテ生産費ヲ減ジテ來ル場合ガアル、サウスルト關稅ノ收入ハアリマシテモ、原價ガソレダケ下ッテ參リマスカラ、内地ニ於ケル所ノ其物價ハ上ラナイト云フ場合ガ、是ハ往々ニシテアリ得ルノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ國民ノ負擔ハ増加致シマセヌ、國家ノ收入ハ殖エマスガ國民ノ負擔ハ毫モ増加シナイ、サウ云フコトガアルト思ヒマス、私ガ關稅ハ消費稅ニアラズト云フ說明ハ致シマセヌ、關稅ノ引上ゲヲヤッテモ國民ノ負擔ガソレダケ殖エルモノデナイト云フ說明上ノコトヲ申シタノデアリマス、其所ハ別ニ區別ヲシテ願ヒタイ、御互ニ重大ナル問題ヲ審議スル場合デアリマスカラ、願クバ問題ノ中心ニ直ニ觸レルヤウナ御質問ヲスル、又ソレニ對シテ私モ御說明ヲ申上ゲルコトニ致シタイト希望致シマス

○堀切委員 只今ノ御說明ノ中、通行稅ハ直接國稅デアルト云フコトニ大多數ノ人ガ異議ガアルダラウ、斯ウ大藏大臣ガ申シマシタカラ、異議ガアル、ソレニ對シテ直ニ堀切君ハ消費稅ト御認メニナルカ、或ハ相續稅ノ如キヲ消費稅ト御認メニナルカト云フ、無論左様ニハ認メナイノデアリマス、ソレヲ濱口君ハ消費稅ノ直接國稅ハ日本ニシカナイヤウニ御考ニナッテ居ル、左様ナ點

ニ於テ——私ハ疑念ヲ抱クト云フノハ此點デアリマス、無論直接國稅デナイモトヲ悉ク消費稅デアルト、左様ナルコトヲ考ヘル者ハナイノデアリマスルカヲ御安心ヲ願ヒタイ、ソレカラ問題ノ中心ニ何故觸レヌカト言ハルガ、大藏大臣ハ私ノ質問ノ要點ニ觸レナイデ、自分ノ御便利ナ事バカリヲ御答辯ニナルカラ、サウ云フ御考モ起ルノデ、自然サウ云フ結果ニ陷ルモノデアリマス、是ハ大藏大臣モ能ク私ノ質問ノアル所ニ御答辯アラシコトヲ希望致シテ置キマス、ソレデ贅澤品關稅ニ對スル御意見ガ、前回ノ御意見ト只今ノ御意見トハ變テ居ルヤウデアアル、サウ云フ風ニ論旨ヲ御變ヘニナル其瞬間ニ於テ、ソレダケ濱口君ノ御考ガ進歩シタモノト認メテ、寧ロ私ハ第二段ノ御考ノ方ヲ歡迎シマス、前ノ御説明ノ方ハ全然間違ッテ居ルヤウデアリマス、續イテ明瞭ニ其次ノ問題ヲ御尋致シマス、今回御提出ニナッタ改正案ハ、政府ハ只今ノ日本ノ經濟狀況ニ照シ是ガ極メテ適切妥當デアアル、斯様ニ御考ニナルカ、幸ニ上下兩院ヲ通過スレバ、直ニ公布シテ之ヲ實行シヤウト云フ、其御確信ヲ以テ御提出ニナッタモノデアアルカ、或ハ唯之ヲ一ツ出シテ見ヤウ、修正モ妥協モ問フ所ニアラズト云フ御考デアアルカドウカ、是ハデス、左様ナ質問スルノガチット間違ッテ居ルヤウデスガ、質問ヲセザルヲ得ナイノハ隣ノ方ノ關係ガアルカラデス、即チ稅制案ニ於テハ、今日世上デハ政府ト本黨トハ妥協スルノダト皆ガ左様ニ認メテ居リマス、果シテ妥協スルカドウカハ知リマセヌケレドモ、世ノ中デハ左様ニ觀察ヲ致シテ居ル、委員長ノ選舉ナドデモ、豫算委員會デモ、或ハ本會ニ於キマシテモ……

「問題外」ト呼フ者アリ

○加藤委員長 ソレハチット問題外ノヤウニ思ヒマスガ

○堀切委員 或ル妥協ノ端緒モ認メラレルヤウデスカラ、之ヲ一寸申スノデスガ(笑聲起ル)果シテアア云フ風ナ遣方ヲナサルナラバ、或ハ是ハ何カアルノダラウト思フ、併シソレハ稅整ノ方面ニ於テ妥協ヲ爲サラウト爲サルマイト、是ハ吾々ノ委員會ノ問題デハアリマセヌガ、斯ウ云フ例ガアルカラ、此關稅ノ問題ニ對シテハ私ハ之ヲ明ニシテ置カナケレバナラヌ、斯様ナ趣意カラ質問ヲ致スノデアリマス、此關稅案ハ現ニ茲ニ提出セラレテ居ル通り、之ヲ直ニ實行スルノガ、一番今日ノ場合適切妥當ナリト云フ確信ノ下ニ御提出ニナツタノデアリマスカドウデスカ、之ヲ伺ヒタイ

係ガアルカラデス、即チ稅制案ニ於テハ、今日世上デハ政府ト本黨トハ妥協スルノダト皆ガ左様ニ認メテ居リマス、果シテ妥協スルカドウカハ知リマセヌケレドモ、世ノ中デハ左様ニ觀察ヲ致シテ居ル、委員長ノ選舉ナドデモ、豫算委員會デモ、或ハ本會ニ於キマシテモ……

○濱口國大務臣 殆ド答辯ノ必要ハナイト思ヒマス、政府ハ關稅改正ノ必要ヲ認メテ、諸般ノ方面カラ十分ナル調査攻究ヲ遂ゲタル上成案ヲ得マシタカラ、之ヲ議會ニ提案シタノデ、今日ノ狀況ニ於キマシテ最モ適當ナル案ト確信ヲ致シテ居リマス、之ニ依テ上下兩院ノ御諒解御協賛ヲ得マシテ、速ニ實行ニ至ランコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス

○堀切委員 只今ノ御答辯ニ對シ本員ハ甚ダ満足致スノデアリマス、此儘之ヲ實行スルノヲ以テ最モ妥當ナリト云フ確信ヲ以テ御提出ニナッタト云フノデアリマス、然ラバ之ニ附隨シテ御尋致サナケレバナラヌ、今日ハ申スマデモナク爲替關係ニ於テ甚シク我國ニ不利デアリマス、昨年以來大分爲替ノ値モ——御相談ガ濟ミマシテカラ質問ヲ致シマス、如何ニ大臣デモ兩方カラ御聽キニナル譯ニハ行キマスマイカラ……

○加藤委員長 御質問御繼續下サイ

○堀切委員 委員長、私語ヲ禁ジテ戴キマス

○加藤委員長 承知致シマシタ

○堀切委員 昨年来爲替相場ハ大分恢復シテ參リマシタケレドモ、今日ニ於テモ尙ホ對米爲替四十五弗ニナルカナラナイカデ、即チ我が圓ノ値ハ約一割マデ下落シテ居ルノデアリマス、之ヲ關稅ノ關係デ申スト、外國カラ輸入スル物ニ對シ全部一割ダケノ關稅ヲ附加スル、今日政府ガ御出シニナッタ關稅率ヲ此儘之ヲ實行スルノガ一番宜シイ斯様ナ御確信ヲ持ッテ御出シニナリマシタ以上ハ、無論此爲替關係ヲ考慮ノ中ニ入レテ稅率ヲ盛ラレタコトト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ハ果シテ此爲替關係ヲ本當ニ考慮ノ中ニ入レテ稅率ヲ御定メニナッタモノデアアルカドウカ、之ヲ伺ヒタイ

○濱口國務大臣 此關稅改正ノ調ヲ致シマスル時ニ用ヒマシタ價格ノ基準期間デアリマス、其價格ノ標準ヲ定メルニハ、大體大正十一年七月カラ十二年ノ六月ニ至ル一箇年間ノ期間ノ其價格ヲ取リマシテ、ソレニ依テ改正案ヲ調査致シ提案ヲ致シタ譯デアリマス、此十一年ノ七月カラ十二年ノ六月ニ至リマス基準期間ニ於ケル爲替相場ハ、對米爲替ガ四十八弗半程ノ平均ニナツテ居リマス、今日ノ相場ヨリハ大分高イ相場ガ出テ居ル、殆ド純分比價ニ近イノデアリマス、大體ニ於テ是ガ平價ニナッタ時ニ於テモ、決シテ差支ハナイト云フ考ヲ以テ提案致シタ譯デアリマシタ

○堀切委員 只今ノ御説明ニ依リマスレバ、大正十一年七月ヨリ十二年六月ニ至ルマデノ値ヲ基礎ト致シタ、其當時ニ於ケル爲替ハ四十八弗二分ノ一、純分比價ニ殆ド接近シタル所ノ値ヲ基礎トシタト云フ御話デアリマス、之ニ比較シテ今日約一割ノ差ガアル、然ルニ先程ノ私ノ質問ニ致シテ、現在ノ改正案ヲ此儘實行スルノガ一番宜シイト云フ確信ノ下ニ提出サレタト申サレタノハ何事デアリマス、一割以上ノ開キ

ガアル、無稅品ナドニ對シテハ重大ナル結果ヲ持ツ、有稅品ニ對シテモ五分、七分、一割、二割デアルニ對シテ、基礎ニ取ラレタ當時ト今日トハ一割以上ノ差異ガアル、斯ウ云フコトヲ無視シテ此改正案ヲ御出シニナッタト云フコトナラバ、政府當局ノ注意ノ周到ナラザルコトヲ責メザルヲ得ナイ、一割以上ノ差ヲ無視シテ、之ヲ實行スルト云フコトガ妥當ナリト思フ居ラレルノデアリマス

○濱口國務大臣 凡ソ政府ガ關稅率一般のノ改正ノ必要ヲ認メテ、諸般ノ方面カラ十分ナル調査研究ヲ致シテ、十數年間ノ懸案デアッタ所ノ問題ヲ解決センガ爲ニ此改正案ヲ出スニ當ッテ、常ニ變動ヲ致シテ居ル所ノ悉クノ爲替相場ト云フモノヲ其考慮ノ中ニ入レテ、變態的ノ場合ヲ基礎トシテ之ヲ改正スルト云フ譯ニハ參ラヌト考ヘマス、今日ハ如何ニモ四十四弗餘デアリマス、若シ今數箇月前デアリマシタナラバ四十二弗程ノコトモアッタ、昨年ノ今頃デアリナラバ三十八弗半ノコトモアッタノデアリマス、一時的變態的ノ爲替相場ヲ基準ニ致シテ、此大切ナル關稅ノ改正案ヲ出ス譯ニハ參ラヌト思ヒマス、大體ニ於テ私ノ考デハ爲替相場ハ先ヅ平價ニ近イト云フモノヲ標準ニ致シテ稅率ヲ決メル外ハナイト思ヒマス、況ヤ爲替相場ノ將來ハ固ヨリ之ヲ豫斷スル譯ニハ參リマセヌケレドモ、

幸ニ致シマシテ大體ニ於テ恢復ノ順調ヲ迪ッテ居リマス、願クバ是ガ順調ニ恢復ヲ致シマシテ、純分比價ニ近付カンコトヲ希望致シマスガ、併シソレガ抑何箇月ノ後ト云フコトヲ期待スルコトニハ無論參リマセヌ、參リマセヌケレドモ、其傾向ハ大體見テ居ル、吾々ハ此爲替相場ガ、總テノ國際貸借ノ關係ガ改善セラレタル結果ト致シマシテ、速ニ平價ニ恢復センコトヲ希望シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ狀態ノ下ニ於テ此關稅改正案ヲ出ス時ニ、其提案ヲ致シマス時若クハ其調査ヲ致シマス時ノ現在ノ爲替相場、ソレガ四十一弗デアリマセウト、或ハ三十八弗デアリマセウト、ソレヲ標準ニ致シテ此將來ニ互ル所ノ重大ナル關稅率ノ一般の改正案ト云フモノヲ提案致スト云フコトハ、是ハ容易デナイト考ヘマス、大體ニ於テ基準期間タル所ノ一箇年間ノ平均カ稍平價ニ近イ相場ヲ現シテ居リマスカラ、ソレヲ基準トシテ此改正案ヲ出シタ譯デアリマス

○堀切委員 只今ノ御答辯ニ對シマシテ私ハ満足スルコトハ出來ナイノデアリマス、輸入品ニ對シ一割ノ稅ガ掛カルト掛ラナイトハ、非常ナ關係ヲ各種ノ物ニ對シテ持ツノデアリマス、外國ノ競走ガ多少アル爲ニ今日成立シ得ナイト云フモノモ、之ニ對シテ一割ノ稅ヲ掛ケレバ優ニ成立シ得ルモノモアルノデアリマス一例ヲ申シマスナラバ銑鐵

ノ如キ、一割稅ヲ課ケテ貫ヘバ銑鐵事業ハ日本デ立派ニ成立シ得ル、吾々共財政經濟調査會ニ於テ稅制ニ關シ調査ヲ行ツタトキハ左様ニナツテ居ッタ、或ハ生活ノ必需品等ニ對シマシテ一割課カルト課カラナイトハ、是非非常ナ相違デアアル、然ルニ偶政府ガ關稅改正ニ著手セラレタ當時ハ、幸ニシテ爲替ガ平價ニ近カタ、ソレカラ調査ヲ進メテオキデニナリ今日ニ至ル迄其間ニハ一割或ハ一割以上モ爲替關係ニハ變動ヲ及ボシテ居ルノデアアル、サウ云フ大事ナコトヲ政府當局トシテ全然之ヲ考慮ノ中ニ入レズシテ、唯斯ノ如キ重大ナルモノデアアルカラ、爲替相場ナドノ一時的變態的變動ニ依テ左右サレルコトハ宜シクナイ、斯様ニ仰セラレマシタケレドモ此爲替ノ變動ヲ一時的ト御覽ニナリマスノハ如何カ、大震災後爲替相場ガ大ナル變動ヲ致シ、昨年ハ初期ニ於テ甚ダ低カタノガ段々ト騰ッテ參リ、サウシテ幸ニ一割ノ程度ニマデ之ヲ漕付ケルコトガ出來マシタケレドモ只今モ御話ニナツタ通り、前途果シテ何時ニナツタナラバ、此爲替相場ハ恢復スルカ殆ド豫期スルコトガ出來ナイ、ソレトモ一時的變態的ト申サレルナラバ今後一年カ二年ノ間ニ恢復スベキモノト此考ヘニナツテ居ラレルノデスカドウカ、或ハ之ヲ恢復セシメル爲ニ適當ナ手段ヲ政府ハ御講ジニナル御考デア

ルカドウカ、先達是ハ武藤山治君ノ本會議ニ於ケル質問ニ對シテ、濱口君ハ此爲替關係ハ自然ニ之ヲ任セテ置クノガ一番宜シイ、人爲的手段ヲ強テ講ズルノハ宜クナイト云フヤウニ御答辯ニナツタヤウニ私記憶致シテ居リマス、速記録ヲ見ナケレバハッキリシタ御言葉ハ分リマセヌガ、左様ナ御趣意デアッタト思ヒマス、シタラバ此場合ニ之ヲ繼續シテ行ッテ、何モシナイデ、サウシテ近キ將來ニ於テ此爲替ガ「バー」ニ恢復スルモノト御考ニナリマスカドウカ、幸ニ今日マデハ一割程度ノ所ニ漕付ケテ參ッタガ、今後ハ此勢ヲ以テ恢復シテ行クモノト私ハ即斷スルコトニ躊躇致スノデアリマス、果シテ之ヲ一時的、左様ニ大藏大臣ハ御説明ニナツタ、ソレデ國民ガ安心致スコトガ出來ルカドウカ甚ダ疑問ニ感ズル、但シ政府ハ是レ々々ノ手段ヲ以テ恢復セシメル考デアアル斯ウ云フ爲替恢復ノ手段ヲ何カ政府ハ御考慮ニナツテ居ルコトデモアリマシタラ之ヲ承リタイ

○濱口國務大臣 御答ヲシマスガ、要點ハ二ツアルヤウニ思ヒマス、第一ハ爲替相場ハ常ニ變動致シテ居ル、現ニ今日ニハ段々恢復ヲ致シテ四十五弗近クニナツテ居ルトハ言ヒナガラ、平價カラ見レバ殆ド一割以上ノ低位ニアル、斯ノ如ク爲替相場ノ變動シテ居ル狀態ニ於テ、平價ニ近イ所ノ相場ヲ基本ト致シテ關稅率ノ引上ヲ致スト云フコトハ宜シクナイデハナイカ、斯ウ云フ意

ハ宜シクナイデハナイカ、斯ウ云フ意

味ノ御質問ガ第一點ダト思ヒマス、如何ニモ御説ノ通り爲替相場ハ變動致シテ居ル、變動致シテ居ルカラ、何處ヲ捕マヘテ關稅率ノ改正案ヲ立テルベキカト云フコトハ甚ダ困難ナル問題デアリマス、サウ云フ場合ニ於テハ、始終變動ヲ致シテ居ル相場ヲ捕ヘヤウガナイノデアリマス、現ニ調査ニ著手致シタ時ト、其成案ヲ調査會ニ於テ得タ時ト、ソレヲ閣議ニ於テ決定シタ時ト、議會ニ提案ヲ致シタ時、其提案ヲ諸君ガ此委員會ニ於テ御審議ニナッテ居ル時ト、其間ニハ始終爲替相場ガ動ク、其動ク度毎ニ關稅率ヲ變ヘテ行カナケレバナラスト云フ御議論デアルナラバ謹ンデ承ル、併シソレハ出來ナイコトデアリマス、ソレガ出來ナイ以上ハ何處カニ基準期間ヲ設ケテ、一定シタル相場ヲ假定致シテ、ソレニ依テ率ヲ盛ル外ハナイノデアリマス、ソレハ即チ基準期間タル所ノ過去一箇年——一箇年ト云フト間違ヒマス、正確ニ申上ゲマスレバ大正十一年七月カラ十二年ノ六月ニ至ル平均相場、總テ輸入價格モソレヲ基準ト致シテ居ル、其時ノ爲替相場ハ幾ラカト言ヘバ平均四十八弗半、大體ニ於テ平價ニ近イノデアリマス、之ヲ採ッテソレヲ基準ト致シ、ソレヲ根據ニ致シテ率ヲ盛ルト云フコトハ、是ハ政府トシテ當然ノコトデアラウト思フ、若シサウ云フ方法ヲ採ラナカタナラバ、何レノ方法ヲ採ルベキカ、恐ラク堀

切君ト雖モ御名案ハアルマイト思フ、殆ド毎週變ッテ居ル、毎十日毎ニ變ッテ居ルヤウナ爲替相場、其一ヲ捕ヘテ基準ヲ立テントスルナラバ、殆ド標準ノ置キ所ガ無いノデアリマス、故ニ右様ノ手段ヲ採ッタノデアリマス、第一點ハ右様申上ゲテ置キマス、第二點ハ、爲替相場ハ段々恢復シタリト雖モ尙ホ平價ニ對シテ一割餘ノ低位ニアル、ソレヲ如何ナル方法ニ依テ平價ニ復セシムルカ、相場ノ恢復ニ對シテ政府ハ如何ナル手段ヲ執ッテ居ルカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタ、其御質問ニ際シテ堀切君ノ御述ベニナリマシタコトハ、私ガ或ル機會ニ於テ他ノ御方ノ御質問ニ答ヘテ、爲替相場ノ恢復ニ對シテハ安ニ人爲ヲ加フベキモノデハナイ、自然ニ放任スルノガ宜シイト云フコトヲ述ベタガ、自然ニ放任シテ置イタノデハ恢復ハ困難デハナイカ、斯ウ云フコトヲ申サレマシタ、如何ニモ武藤山治君ノ御質問ニ對シマシテ、安ニ人爲ヲ加フルノハ宜クナイト云フコトヲ申シマシタガ、自然ニ放任シテ宜シイト云フコトハ申シマセヌ、此内閣ハ爲替政策ニ對シテ決シテ自然ニ放任致シテ居リマセヌ、爲替相場ニ對シテ何カ政策ヲ用ユベシト云フナラバ、堀切君ノ御意見ハ或ハ爲替銀行ニ政府ノ持ッテ居ル所ノ正貨ヲ拂下グルガ宜シイトカ、或ハ政府自ラ相場ノ恢復ヲ圖ル爲ニ外債ヲ起スガ宜シイトカ、或ハ民間ヲシテ外資ヲ輸

入セシムルガ宜シイト云フヤウナ手段ヲ指シテ言ハレルノデアルカモ知レマセヌガ、政府ハサウ云フコトヲ以テ人爲的ナリト言フ、吾々ノ考フル所デハ、今少シ根本的ニ相場ノ恢復ヲ圖ラナケレバナラヌ、相場ノ恢復ヲ圖ルノミデハアリマセヌ、爲替相場ト云フモノハ故ナクシテ恢復スルモノデハナイ、故ナクシテ下落スルモノデハナイ、其下ガルノニモ其上ガルニモ自ラ原因ガアル、之ヲシテ段々順調ニ平價ニ恢復セシムベキヤウナ總テノ政策ヲ綜合シテ行フト云コトガ現内閣ノ政策デアル、財政ノ整理緊縮其一デアリ、國民ニ向ッテ消費ノ節約ヲ獎勵シ、勤儉力行ヲ勵マシムルト云フコト其一デアリマス、公債政策ノ改善其一デアアル、總テ政府ノ財政經濟政策ハ、國際貸借關係ヲ改善セシムルヤウニ仕向ケテ置イタ積リデアアル、其仕向ケ來ッタ過去一箇年間ノ間ノ政策ガ、今日ニ至ッテ如何ナル效果ヲ奏シタカト云フコトニ付テハ、遺憾ナガラマダ十分トハ申シマセヌ、吾々甚ダ其不敏ヲ恥デテ居ル、併シ幸ニ致シマシテ逆ニハ參ッテ居ラヌ、ソレダケハ聊カ意ヲ強ウシテ居ル、仍テ政府ノ爲替ニ對スル所ノ政策モ、一般的ノ國際貸借ノ改善ニ對スル政策ト同様デ、今日ノ方針ヲ以テ進ムノミデアリマス、サウスレバ自然ニ相場ガ恢復スル、自然ト申スノハ直接爲替ニ向ッテ或ル手段ヲ加ヘルト云フ意味デナイコトヲ意

味スル、總テノ政策總テノ方針ガ茲ニ相抱合致シ、相一致ヲ致シ、其結晶物トシテ國際貸借ノ關係モ改善サレ、從ッテ爲替相場ノ順調ナル恢復ヲ見ルコトガ出來ルデアラウト云フコトヲ期待シテヤッテ居ルノガ、現内閣ノ政策デアリマス、決シテ無爲ニ放念シテ居ル譯デハアリマセヌ、又人工的手段ヲ其間ニ弄シテ居ル譯デハアリマセヌ、即チ總テノ經濟ハ、其原則ニ基イテ根本的ニ改善ヲ圖ルト云フコトニ常ニ努力ヲ致シテ居ルト云フコトヲ、特ニ此機會ニ於テ申上ゲテ置キマス

○堀切委員 豫メ濱口大藏大臣ニ御注意ヲ申上ゲテ置キマスガ、直グニ濱口大藏大臣ハ質問者ハ斯ウ云フ意見カモ知レヌト云フコトヲ假定シテ説ヲ御述ベニナルノデアリマス、是ハ私ガ斯ウ云フ意見ナリト申シタニ付テ御答辯ヲ爲サルナラバ宜シイガ、其假定ハ全然私ノ考ヘテ居ルコトト違ッテ居ル場合ガ多イノデアリマス、サウ云フ假定ヲシテ、殊更ニ質問者ガ考ヘモシナイ、夢想ガモセザル所ニ質問者ヲ置イテ、之ニ對スル御答辯ハ是ハ御慎ミヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ只今ノ御答辯ノ中デ、十一年七月ヨリ十二年ノ六月ニ至ル間、此間ノ爲替相場ハ平價ニ近カタカラ之ヲ採ッテヤッタノデアアル、日々或ハ時々ニ變動シテ居ル爲替相場ヲ考慮シテ稅率ヲ盛ルト云フコトハ到底出來ナイ、斯ウ云フ

御意見デアル、成程日々時々刻々ニ變動スル相場ヲ見テ稅率ヲ變更スルト云フ譯ニハ到底參ラヌ、是ハ其通りデアリマス、堀切君ハサウ云フコトヲ豫想スルカ、ソレダケハ要ラヌコトデアリマス、ソノ事ハ決シテ豫想シナイノデアリマス、唯基準ニ御採リニナッタ年ハ大震災前ノ年デアル、日本ノ經濟界ハ戰後ノ反動ヲ受ケタガ、段々ト恢復ノ緒ニ就カントシテ居ッタ年デアル、所ガ大震災ノ結果經濟界ハ非常ナル大變動ニ遭遇シタノデアリマス、此震災ノ爲ニ濱口君ノ從來國民ノ前ニ呼號ナサレタ點ニ於テ改正ヲ加ヘラレタル點モ非常ニ多イノデアリマス、或ハ金ノ解禁問題デアルトカ、豫算ノ緊縮政策、御精神ハ緊縮デアルガ數字ノ上ニ於テハ却テ餘計ニナツテ居ル、何レモ斯ウ云フ點ハ、悉ク濱口君ハ大震災ヲ考慮シテ今日ハ通ゲテ居ラレルヤウナ有様デアアル、通ゲラレルノデハナイカモ知レヌガ、アノ大震災ガアッタカラ當時ノ議論ヲ其儘實行スルコトガ出來ナイ、斯様に申サレテ居ル、決シテ惡イトハ申サナイ、ソレダケノ大關係ヲ持ッタ此大震災、之ヲ全然此問題ニ付テダケハ考慮ニ御入レニナラヌノハドウ云フ譯デアアルカ、アノ大震災アツテ以來爲替ハ非常ナ暴落ヲ來シタノデアリマス、又時々刻々刻ノ變動ニ付テ無論考慮ニ入レル譯ニハ行キマセヌケレドモ、今ノ一割トカ二割トカ、大ナル違ヒヲ生ジタト云フ

場合ニハ、是ハ考慮ニ入レナクテモ宜シイカドウカ、之ヲ御尋致スノデアリマス、英吉利ナドデハ爲替ノ開キガ五%、五分ニナッタ場合ニハ、是ハ恢復セシムルコトハ容易デアル、又五分位ノ程度ナラバ、是ハ詰リドチラニモ大シタ考慮ヲ費サナクテモ宜シイト云フヤウニ信ジラレテ居ルヤウデアリマス、マダ五分ニ達シナイ、此場合即チ一割ノ開キガ此處ニアルノデアル、斯ウ云フ大キナ開キヲモ考慮ニ入レナイデ善イカ惡イカ、之ヲ御尋スルノデアリマス、時々刻々ノ極ク僅カノ變動、左様ナ事ニ付テ、ドウシヤウ斯ウシヤウト云フコトヲ御尋スル譯デハナイ、私ハ之ニ對シテ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルカドベテ居ナイ、大藏大臣ノ御説ヲ謹ンデ拜聽セントスルダケノ事デアリマス、ソレカラ政府ハ爲替恢復ノ爲ニ人爲手段ヲ講ジナイ、唯根本的ニ爲替ヲ恢復セシムル手段トシテ行政財政ノ整理、公債ノ非募債主義、勤儉ノ獎勵、斯ウ云フ根本的方針ニ對シテ力ヲ注イダト云フ御答辯デアリマス、然ラバ昨年中ニ内地ノ正貨ヲ輸送ナサレタ、是ハ爲替恢復ノ爲ニ直接ニ政府ガ人爲手段ヲ講ゼラレタモノデハアリマセヌカドウカ、又今年度ニ於テモ矢張斯ノ如キ正貨ノ現送ト云フヤウナ手段ヲ御執リニナル御積リデアリマスカドウカ、之ヲ伺ツテ置キマス

○濱口國務大臣 政府ガ關稅改正ノ案ヲ立テタルニ當ツテ、基準期間タル所ノ大正十一年七月ヨリ十二年六月ニ至ル震災前ノ期間ヲ探ツタノハドウ云フ譯デアアルカ、震災前ノ大正九年ノ經濟界ノ反動、其餘勢モ段々恢復ヲ致シテ順調ニ向ヒツ、アツタ其期間デアリマス、然ル所十二年九月大震災ノアツタ時ニ、又經濟界ガ新タナル所ノ衝動ニ遭遇致シテ狀態ガ變ツテ來タ、此際基準期間ヲ選定スルニ當ツテ、其狀態ノ變ツタ後ノ事ヲ見ズニ、狀態ノ變ル前ノ、即チ震災前ノ期間ヲ擇ンダノハドウ云フ譯カト云フノガ、第一點ノ御質問デアッタヤウデアリマス、政府ガ震災前ノ期間ヲ擇ビマシタノハ、震災前デアアルカラ擇ンダ、是ハ當然ノ事デアリマス、震災後ニ於テハ非常ニ變化ヲ告ゲタ、其變化ガマダ去リマセヌ、マダ去リマセヌガ段々去リツ、アル、物價ノ如キモ大體ニ於テ震災前ノ物價ニ戻リツ、アル、現ニ小賣相場ハ戻ツテ居ル、卸賣相場ハ少シマダ達セヌカト云フ狀態デアアル、追々震災前ノ狀態ニ復ツテ來ル見込デアアルシ、又復ツテ來ルコトヲ期待シテ居ル、此際ニ於テ關稅ノ改正ヲ行フ、將來ニ向ツテ施行サルベキ所ノ定率法ノ改正ヲ行フニ、其震災ノアツタ期間ヲ捉ヘテ基準期間トシテヤルト云フコトハ非常ニ危險デアラウ、ソレ故ニ震災ノ無カッタ震災前ノ一年間ノ期間ヲ捉ヘテ、之ヲ基準期間ト致シ、爲替相場モ自然ニ其間ノ

平均ヲ取ツタノデアリマス、是ガ政府ハ定率法ノ改正ヲ爲スニ當ツテ適當ナ方法デアアルト信ジテ居リマス、ソレカラ第二點ハ何レニ致シテモ爲替相場ハマダ平價ニ對シテ一割低イ、其狀態ヲ全然無視シテ、サウシテ基準期間ノ四十八弗半ヲ探ツタノハドウ云フ譯デアアルカ、斯ウ云フ重ネテノ御質問デアリマスガ、是ニ對シテハ先刻カラ屢御答ヲ致シテ居ル、考慮致シタガ御説ノ通り時々刻々ニ變遷スル所ノ爲替相場ハ捉ヘ所ガアリマセヌ、是ハドウシテモ平價ニ近イ所ノ基準期間ニ依テ案ヲ樹テルヨリ外ニ方法ハナイト云フ結論ニ到達ヲ致シタカラ、サウ云フコトニ致シタノデ、十分ニ考慮シタ結果ト御承知ヲ願ヒタイ、第三ニハ爲替相場ノ恢復ヲ圖ルガ爲ニ、更ニ直接ニ人工的手段ヲ用ヒヌト言ツタガ、昨年來金ノ現送ヲヤッタノハ、直接ニ爲替相場ノ恢復ヲヤツテ居ル政策デハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ少シ違ヒマス、是ハ御承知ノ通り日本銀行ノ準備正貨デモ何デモナイ、政府保有ノ内地正貨デアリマス、從來内地ニ於テ死藏シテ居ル、少シモ利息ヲ生マナイ、唯内地ニ死藏シテ居ル正貨デアリマス、之ヲ海外ニ現送スルト云フコトハ、海外拂ノ財源ニ充テルマデノ間ハ、亞米利加ニ於キマシテ相當ノ利殖方法ヲ講ズルコトモ出來マス、ソレカラ之ヲ支拂フニ

當ツテ純分デ以テ送りマスカラシテ、前カラアチラニ持ッテ居リマス所ノ在外正貨ト平均ヲシテ、新ニ在外正貨ノ保有價格ガ決マル、サウスルト云フト此方カラ現送スル數量ニモ依リマスケレドモ、其現送シタ正貨ガ亞米利加ニ着キマスト云フト、我國ガ米國ニ於テ持ッテ居ル所ノ正貨ノ保有價格ノ平均ガ上リマス、其上ツタ所ノ正價デ公債ノ利子或ハ海軍ノ支拂等ヲ致シマスカラ、ソレデ爲替上ノ差損ヲ減少セシムルコトガ出來ル、即チ國庫ノ利益ニナリマス、繰返シテ申シマスレバ、内地ニ死藏シテ居ルモノヲ彼ノ地ニ送ッテ相當ノ利殖方法ヲ圖ルト云フコトガ第一點、第二點ハ、在外正貨ノ保有價格ヲ高メシメテ、ソレニ依テ海外拂カラ生ズル所ノ爲替上ノ差損ヲ減少スルト云フコトガ第二點、此二ツノ目的ヲ以テ實行致シテ居リマスノガ、即チ政府保有正貨ノ現送デアリマス、是ハ其程度ト度數トハ豫メ申スコトガ出來マセヌガ、大體ニ於テ今後モ續行スル見込デアリマス、即チ内地正價ノ現送ト云フコトハ、直接ニ相場ノ恢復ヲ目的トシタモノデハナイ、其目的タルヤ右申シタ所ノ二ツノ目的デアリマス、然ルニ間接カラ申シマスト云フト、自然ニ日本ノ圓ト云フモノニ對スル所ノ外國ノ信用ヲ高メル一ツノ影響ガアリ得ルト思フノデアリマス、ソレハ政府ノ豫

期セザル所ノ偶然ノ結果デアリマス、其偶然ノ結果ニ依テ幾分カ爲替ガ恢復ヲスルト云フコトモアリ得ル、併シ是ハ直接ノ目的デハアリマセヌ、直接ノ目的ハ何處迄モ前申シマシタ所ノ二ツノ點デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○堀切委員 正貨ノ現送、是ハ間接ノ結果デアル、是モ見様ニ依テハ左様ニモ申サレルガラウト思フ、併シ最初ニ是モ御尋致シマシタ私ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ト同ジ種類デアリマス、即チ大藏大臣ハ何處迄モ其目的ヲ主トシテ御説明ニナル、目的バカリデハ私ハイケナイ、寧ロ結果ガ重大ナル關係ヲ持ッテ來ハセヌカ、斯ウ言フノデアリマス、併シ是ハ又繰返シテ私ハ申ス煩ヲ避ケマス
○加藤委員長 マダ御質問ハ長イノデスカ
○堀切委員 御答辯モ長カッタノデ隨テ質問モ長クナルノデ、甚ダ是ハ遺憾デアリマス
○加藤委員長 マダ御質問ガアレバモウ十二時ニナリマスガ……
○堀切委員 ソレデハ私ハ留保致シマシテ更ニ繼續致シマス
○加藤委員長 午後ハ税整ノ方ニ大藏大臣ガ行カネバナラヌト言ヒマスカラ、今成ベク要領ダケデ済ムナラバ済マシタイト思ヒマス
○堀切委員 ソレデハ外ノ委員カラ聞イテモ宜ウゴザイマス、唯一ツ是非大

藏大臣ニ御伺シテ置カナケレバナラヌ事ガアリマス、ソレダケ伺ッテ宜シウゴザイマス
○加藤委員長 ソレデハドウゾ……
○堀切委員 今回改正ノ結果初年度ニ於テ七百五十萬圓、次年度以降千九百三十萬圓ノ增收ト云フコトニナッテ居リマス、所ガ私共ノ考デハ、日本ノ關稅ノ收入ハ諸外國ニ比較シテ甚ダ是ハ少イ、斯様ニ感ズルノデアリマス、一例ヲ舉グレバ英國ノ如キ、近年英吉利ノ輸入額ハ約百億前後デアリマス、此百億ノ輸入ニ對シテ十二三億圓ノ關稅收入ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、即チ一割三分見當ノ收入ヲ舉ゲテ居ル、所ガ日本デハ昨年ハ輸入二十五億、之ニ對シテ關稅收入ハ一億前後、非常ニ割合ガ少ナイ、而モ英吉利ハ保護國デモ何デモナイ、世界有數ノ自由貿易國デアリマス、此自由貿易國デ十二三億、百億ニ對シテ舉ゲテ居ル、日本ハ二十五億ニ對シ僅ニ一億前後、甚ダ關稅ノ收入ハ日本デハ少イノデス、是ハ英吉利ノ如ク必シモ物價ニ關係ヲ及ボサナイデ收入ヲ殖ス途ヲモウ少シ御研究ニナル餘地ガナイカドウカ、國民生活ニ支障ヲ來サシメ、生活ヲ脅威スルコトナシニ、關稅收入ヲ増加セシムル方法ナキヤ否ヤ、無イト云フコトハ私ハ申サレナイカト思フノデアリマス、現ニ英吉利ノ如キ日本ノ率カラ申シテ二倍半ノ增收ヲ爲シツ、アルガ、今回ノ改正ニ對

シマシテモ、政府ハ稅額ノ殖エルト云フコトヲ非常ニ御心配ナサリ、成ベク稅額ノ殖エルト云フコトハ言ヒタクナイ、從量稅ヲ從價稅ニ直シ或ハ其標準價格ノ違ヒ其他ノ結果、色々ヤッテ見タ所ガ、測ラズモ千九百萬圓ダケ平年度ニ於テ增收ノ結果ニナツタ、增收ニナツタコトヲ如何ニモ恐ル々々世ノ中ニ發表セラレテ居ルヤウナ觀ノアルノハ私ハ甚ダ不思議ニ考ヘル、蓋シ我國ハ申ス迄モナク維新ノ當時、丁度今日ノ支那ノヤウニ歐米先進國ヨリ稅權ノ上ニ制限ヲ加ヘラレ、日清戰爭日露戰爭等ヲ經テ漸々稅權ノ恢復ハ致シマシタケレドモ、併シ例ノ日露戰爭ノ後デモ明治四十三年、即チ此前ノ改正ノ時ニ於キマシテ、英吉利アタリカラ突込マレテ片務協定——事實上ニ於ケル片務的協定ニ終ツタコトハ御承知ノ通りデアル、當時今日ノ委員長加藤君ハ、私ハマダ議會ニハ入ッテ居リマセヌ、マダ一介ノ書生デアリマシタガ、加藤君ノ有名ナル御演說ヲ新聞デ承知致シタ、英吉利ノ鐵其他ノ製品ヲ我國デハ之ヲ無稅ニシ、或ハ稅率ヲウント減ジテ協定シ、日本カラノ絹其他ノモノヲ、英吉利ハ從來無稅デアッタガ、今後モ尙ホ無稅ヲ繼續スベシト云フヤウナコトデ協定シテ、此稅率ヲ大ニ減ジタ、之ニ對シテ當年ノ加藤君ハ、當時ノ外務大臣小村伯ハ空氣ニ代價ヲ拂ッテ買入レタヤウナモノデアル、英吉利ノ空氣ニ代金ヲ拂

テ外務大臣ハ買ッタデハナイカト大ニ
氣焔ヲ吐カレタコトヲ記憶致シテ居リ
マス、加藤委員長當年ノ御意氣今尙ホ
盛ンデアラウト思フノデアリマス、斯
ノ如ク折角計畫シタモノヲ、少シ外國
カラ壓迫ヲ受ケルト云フト、直グニヘ
トヘトニナツテシマフ、今回モ亦同ジ事
ヲ此改正ノ中ニヤツテ居ルヤウニ私ニ
ハ見ユル、例ノ銑鐵ノ課稅ノ如キ是レ
デアル、稅制調査委員會ニ於テモ、商工
省ニ於テモ、關稅ニ對シ銑鐵ニ相當ノ
稅ヲ盛ルコトニ殆ド議ガ決ッテ居ッタ、
大藏省モ一應之ニハ御同意ニナツタモ
ノト信ズル、私ハ海外旅行中デアッタカ
ラ、ハッキリシタコトハ分リマセヌケ
レドモ、多分サウデアッタラウ、之ヲ閣
議ニ持ッテ行クト、外務省方面カラ又苦
情ガ參ッタ、銑鐵ニ課稅ヲスルト印度ニ
復讐ヲサレル虞ガアルト云フ、其印度
ハ現ニ銑鐵ニ一割ノ課稅ヲヤツテ居ル、
日本デモ相當ニ課稅ヲシヤウ、斯ウ折
角各省ニ於テ議ガ纏マリ、關稅委員會
ノ議モ纏マツテ之ヲ持出スト、又外務省
アタリカラ苦情ガ出テヘト、ニナル
ト云フコトデハ、何時迄モ今日ノ支那同
様ニ日本ハ稅源ノ上ニ壓迫ヲ加ヘラレ
ル、是ガ習ヒ性トナツテ大藏大臣其他内
閣ノ閣僚ニ於カレマシテモ、一ツ外國
カラ苦情ガ出レバ直グ降參ヲシテシマ
フ、外務省ノ軟弱外交、ソレカラ財政其
他商工當局ノ心ノ中ニ確信ガナイ爲ニ
直グニ讓歩シテシマフ、其軟弱ナル態

度ノ爲ニ取ルベキモノモ取レヌト云フ
結果ニ陷ルノデハナイカ、英國ノ百億
ニ對シテ十三億ノ關稅ニ對シ、日本ハ
二十四億ニ對シテ一億内外、餘リニ少
イ、是ハ大藏大臣ノ技倆ガ大ニ振ハル
ベキ技倆ヲ何故モツ御揮ヒニナラヌ
カ、稅額ノ少ナイコトヲ寧ロ希望シテ
居ラレル、サウ云フコトヲ戰々恟々ト
シテ恐レテ居ルト云フ態度ハ餘リ不思
議ニ考ヘラレル、モット是ハ國民ノ生活
ヲ壓迫スルコトナシニ關稅ノ收入ヲ増
ス途ハナイカドウカ御伺シタイ、況ヤ
先程大藏大臣ノ御説明ノ如ク關稅ノ中
ニハ生活ノ脅威ヲ受ケルモノガアル、
大藏大臣ノ先程御説明ノ通り、ソレ等
ノ點ニ考慮ヲ廻ラス此上餘地ナシト御
考ニナルカドウカ、此點ヲ伺ヒタイ
○濱口國務大臣 只今ノ御質問ヲ伺ッ
テ居リマス云フト、堀切君ハ關稅ノ
非常ナル増徴論者デアアルト云フコトガ
分ッタノデアリマス、質問ノ際デアアルカ
ラ意見ハ言ハヌ、政府ノ所見ヲ聽ケバ
宜シイト云フコトデアリマシタガ、只
今確ニ御意見ヲ御述ベニナリマシタ、
ドウモ日本ノ關稅ノ收入ガ少ナイ、斯
シナコトデハイケナイ、何故モツ増徴
シナイ斯ウ云フコトニ歸着致シマス、
是ハ私ハ只今答辯ヲスル位地ニ立ツテ
居リマスカラ、別ニ批評ヲ申ス意思ハ
毛頭アリマセヌ、初メノ御質問ノ御趣
旨ト比較ヲ致シマシテ段々考ヘテ見ル
ト、少シ分ラナクナッタノデス、關稅ノ

増徴ハ即チ消費稅ヲ高メルコトニナ
テ居ル、ソレダケ國民ノ負擔ヲ増加ス
ルデハナイカト云フ御趣意ヲ御質問ニ
ナツテ居ッタカト思フト、只今ハモット大
ニ取ッタ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコ
トニナリマスガ、ソレハ堀切君ノ御考
デアリマス、別ニ彼此レ申ス譯デア
リマセヌ、申ス譯デアリマヌガ、ソ
ナ感ジガ起ッタ、ソレデ御質問ニ對シテ
ハ斯様ニ御答ヲ致シマス、英國ト日本
トハ大ニ國情ガ違フト云フコトヲ御答
致シマス、英國ノ關稅ガ收入ガ多イカ
ラ、日本ノ關稅ノ收入モ其割合ニ多ク
ナラナケレバナラヌ、輸入品ノ價額ノ
割合ハ英國ニ匹敵スル位取ラナケレバ
ナラヌ、斯ウ云フヤウナ御趣意デアッ
タノデアリマスガ、ソレハ國情ガ違ヒマ
ス、洵ニ是ハ我國トシテハ遺憾ナコト
デアリマスケレドモ、原料材料品ガ内
地ニ産シナイ、第一棉花ガ出來ナイ、羊
毛ガ出來ナイ、鐵モ至ツテ少ナイ(堀切
君「英吉利モ日本モ皆無稅デス」ト呼
フ)サウ云フモノハドウシテモ外國カ
ラ輸入シナケレバナラヌ、從ッテ無稅品
ニ對スル有稅品ノ極メテ割合ガ少ナ
イ、サウ云フ狀況ノ下ニ於テ英國同様
ノ關稅ノ收入ヲ舉ゲルト云フコトハ無
理デアラウト考ヘマス、殊ニ砂糖デア
ルトカ、茶デアルトカ、珈琲デアルト
カ、國民ノ嗜好ガ大體ニ於テ違ッテ居
ルト云フ點モ考ヘナケレバナラヌ、サウ
云フ國柄ノ異ルニモ拘ラズ、モウ少シ

増徴ヲシナケレバナラヌ、大ニヤラナ
ケレバナラヌト云フコトヲ私ハ考ヘテ
居リマセヌ、ソレハ全ク意見ノ相違ニ
ナルカドウカ知リマセヌガ、政府ハ左
様ナ考ヲ持ッテ居ナイ、其持ッテ居
イ理由ト致シマシテ、外國ニ憚カル
其結果思切ッテ引上ゲルコトガ出來
ナイデハナイカト云フ疑ヲ持ッテノ
御質問デアリマス、サウ云フコトハ
毛頭アリマセヌ、是ハ明瞭ニ申シテ
置キマス、御互ニサウ云フコトヲ斯
ウ云フ場所ニ於テ論議スルト云フコト
ハ私ハ甚ダ宜シクナイト思フ、帝國ハ
關稅ノ改正ニ付キ、關稅率ノ問題ニ付
テハ完全ナル自主權ヲ持ッテ居リマス、
其自主權ヲ如何ナル程度ニ發揮スル
カ、是ハ程度ノ問題、帝國自ラ決定スベ
キモノ、内外ノ情勢ニ照シテ適當ニ之
ヲ極メルベキモノデアリマス、何モ外
國ニ對シテ遠慮ハ要ラナイ、此度ノ御
協贊ヲ願ッテ居リマス所ノ率ノ改正ニ
付テモ、其考ヲ以テ提出ヲ致シテ居
マス、維新以來ノ事ヲ御話ニナリマシ
タガ、維新ノ當時ハ維新ノ當時、今日ハ
今日、今日帝國ト致シマシテハ名實共
ニ完全ニ自主權ヲ持ッテ居リマス、御承
知ノ通り佛蘭西、伊太利ニ對シテハ、暫
定のニ或ル協定稅率ガ殘ッテ居リマス
ケレドモ、ソレハ極ク僅少ナル例外、其
他ニ於テハ完全ナル自主權ヲ持ッテ居
マス、其自主權ヲ内外ノ經濟界ノ情勢、
國民ノ生活ノ狀態ト云フコトニ照シ

テ、如何ナル程度ニ於テ今回ノ改正ニ當ツテ實現スベキカト云フコトガ、御互ニ自ラ決定スベキ問題、別ニ外國トノ關稅ヲ考慮シタノデハアリマセヌ、遠慮シタノデモアリマセヌ、唯帝國ノ利害ト云フコトヲ考ヘタダケデアリマス、若シ左様ナ御心配ヲ持ッテノ御質問デアルナラバ、其御心配ハ御無用デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○加藤委員長 最早十二時ヲ過ギマシタカラ、大藏大臣ニ御質問ガアルナラバ、大藏大臣ハ午後ハ此處ニ出ラレナイサウデスカラ、明日ニ讓ッテ、他ノ大臣ニ對スル質問ヲ午後カラ繼續致シタイト思ヒマス、如何デスカ

○堀切委員 大體異議ハアリマセヌガ、大藏大臣ノ只今ノ御答辯ノ中、一點ダケモウ一度御伺致シタイ

「今日ハ是デ止メテ貰ヒタイ」
「繼續スベシ」ト呼フ者アリ」

○加藤委員長 繼續スルト云フ說ト休ムト云フ說トアルヤウデスカ、ドチラガ多數デスカ

「休ムベシ」「休ムベシ」ト呼フ者アリ」

○加藤委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會シマス

午後零時十一分散會

大正十五年二月四日印刷

大正十五年二月五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社